

定例教育委員会会議録

(令和元年10月4日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 令和元年10月4日(金)

午前9時30分

場 所 202会議室

署名委員 小平委員、草間職務代理者

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 全国学力・学習状況調査について 【資料No.1】 (教育総務課)

○ 報 告

1. 来年度の予算編成方針について【別添資料】 (教育総務課)
2. カナダデザインイラストコンテスト選考結果について【資料No.2】 (生涯学習課)

○ その 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

【次回開催予定】 11月 8日(金) 定例教育委員会 9時30分 605会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 高木 千奈美、教育委員 藤森 一俊、
教育委員 小平 陽子

事務局(説明員)

教育部長 城田 守、教育部教育担当参事 三村 靖夫、教育総務課長 両角 秀孝、
教育総務課主任指導主事 竹内 良之、生涯学習課長 小池 秀昭、スポーツ振興課長 小河原 義友、
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 小口 明彦、教育総務課主査 保科 圭吾

<会議録>

○開 会

岩本教育長： 皆さんおはようございます。大変ご多用の中お集まりをいただきありがとうございます。今朝は早朝から雷がなったり、かなり激しい雨が降っておりますけれども、今は一変して大変秋らしい穏やかな青空が広がっております。秋の深まりを感じるこの頃ということで、いよいよ実のりの季節かなと思っております。市立図書館には名物の3大ツリーがあります。その内のポポーの木が実りの秋を迎えております。ポポーの実を食べることができます。非常に栄養があってミネラルとかビタミンが豊富に入っているので森のカスタードクリームと呼ばれています。今、実はだいぶ落ちてしまいましたが、図書館の職員がいくつか集めて、市民の皆さんへ配ったり、匂いを嗅いでいただいたり楽しんでいただいているそうです。是非、図書館へ行った時にはポポーの木をご覧いただければと思います。

それでは、只今より定例教育員会をはじめます。本日の署名委員は小平委員さんと草間職務代理者さんをお願いをいたします。最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

本日は、教育総務課2件と生涯学習課2件の報告をさせていただきます。

1. 川岸小学校児童の通学バスの利用変更について

川岸小学校の児童の内、駒沢と夏明地区の1、2年生は通学バスを利用しております。これは昭和39年に安十分校を閉校した際、遠距離通学となる児童の安全を守るよう地域との約束により実施しているもので、現在は朝夕、シルキーバスを利用しております。3年生以上は徒歩により通学していますが、主な通学路であります県道下諏訪辰野線は、車の交通量も多く、この地区は歩道整備が進んでいないため、保護者や学校関係者も交通事故等の危険性を心配されて、昨年度であります、バス通学できる学年の見直しについて、PTAから要望をいただいております。

通学路の安全確保は重要な課題でありますので、教育総務課で利用拡大について検討を行い、この地区の道路状況などを考慮して、本年度から川岸小学校の3年生まで通学バスの利用を拡大することにしました。

1、2年生の利用対象者は現在14名で、これを3年生まで拡大しますと13名が利用できるようになります。現行のシルキーバスの乗車人数には制約がありますので、4年生以上の児童までは利用できませんが、他校とのバランスなども考慮した上で利用できる学年は3年生までにしたいと思います。日没も早くなってきており、学校との調整が済み次第、早ければ、10月中から実施していきたいと考えております。

2. 岡谷市いじめ防止対策推進委員会の事例研究について

教育委員会では、各小中学校の先生方をメンバーに「岡谷市いじめ防止対策推進委員会」という組織を設けております。先日、この委員会の事例研究の中で、ある学校が発表した事例が、とても素晴らしいものでしたので、ご紹介したいと思います。

今年度から、市内小学校に入学した児童の中に、車いすを利用している児童がおります。その児童のお兄ちゃんが妹のことを思い、全校の友だちや、先生方をお願いしたいことを伝えたいと希望して、全校集会の時間を少しもらって、お兄ちゃんがみんなにお話した内容であります。

「ぼくは〇年〇組〇〇です。今日はみなさんに伝えたいことがあって、先生に時間を作ってもらいました。ぼくの妹は1年生です。知っている人もいると思いますが、車いすで生活しています。ぼくは病気の名前は知りませんが、生まれた時から歩けません。妹はなにも悪いことをしていないのに、歩けないです。

みんなは生まれてハイハイしてから歩けるといふ、あたりまえに思っているかもしれませんが、できない人もいます。

妹はいつもみんなと一緒がいいと言います。ぼくのお父さん、お母さんは、その妹の気持ちを受け入れました。

だから、〇〇小にいます。でも家族だけの気持ちで通えるわけではなく、ここにいるたくさんの先生方が、理解して受け入れてくれました。

学校中スロープがあって、不便と思う人がいるかもしれませんが、これも妹のためにいっしょうけんめい考えて作ってくれた先生がいます。だから、ぜひみなさんも大切に使うとありがたいです。

ただ、妹とはかぎらず伝えたいことがあります。お母さんはよく、おもいやりについて話してくれます。おもいやりは、やさしさだけではないこと。人のいやがることをしないこと、人のいやがることを言わないこと、そして自分とのちがいがあっていいと思う気持ちがおもいやりです。

妹のように車いすで生活している人、国がちがう人、メガネをかけている人、自分の病気を持っている人、みんなが友だちです。だから、こまっている人やせつない思いをしている人がいたら、勇気を持って助けていけるみんなになれたらいいと思います。人がやってくれた時にありがとうと言うのもおもいやりです。なので、おもいやりを持って生活してほしいです。

ぼくは、まず自分からおもいやりを持って生活していきたいと思いました。今日は話を聞いてくれてありがとうございました。」

以上がお兄ちゃんからのお願いでした。

それを受けて、その小学校では、全校で「おもいやり」を大切にしようという気持ちを強く意識することができました。

この事例は、まさに、インクルーシブ教育の実践であり、共生社会を知り、いじめ根絶や、人権教育にも通じるものであります。委員会に出席した先生方も、大変、感銘を受けて、各校の教材として使っていきたいと言っておりました。

お兄ちゃんのやさしさが溢れる、素晴らしい内容でありましたのでご紹介させていただきました。報告は以上であります。

3. 「岡谷縄文シンポジウム」について

先週の土曜日に、テクノプラザで「岡谷縄文シンポジウム」を開催したところ、休日の行事の多い中にもかかわらず、客席がほぼ満席となる、100名近い大変大勢の市民の皆さんにお集まりいただきました。

「ものづくり」をテーマにしたことで、考古学に興味のある方ばかりでなく、企業の社長さん方も何人かお見えになっておりました。

早稲田大学文学部の高橋教授の基調講演に続き、「『ものづくりのDNA』を語る」をテーマに、縄文の黒曜石の時代から、シルクの時代を経て精密機械産業にいたる岡谷の歴史を、考古学、蚕糸、そして精密加工工業の3つの分野からのパネリストの先生方からお話をいただきました。

ものづくりの技術の裏側にある「創意工夫」や、時代を先取りする精神、優れたリーダーの存在が、岡谷の「ものづくり」を支えてきた原動力であったというお話もありました。

そうした意味では、教育が果たす役割は一層大きいものがあると、思いを新たにしたいシンポジウムでありました。

4. 旧林家住宅の離れの屋根の吹き替え工事について

約300万円をかけての工事が先月終了いたしました。国の重要文化財ということで、建設当時の仕様に復旧するための特殊な工程も取り入れるなど、苦勞をした工事であったとのことでした。

9月26日の竣工検査には、設計や工事の監理をお願いした「信濃伝統建築研究所」の所長さんから、今後の修繕について、いくつかアドバイスもいただきました。

市の厳しい財政状況にもありますが、文化財の保存と活用に向けて、力を入れていきたいと思っているところであります。

また、工事検査が行われたその日は、諏訪美術会によります「諏訪展」が、ララオカヤで開催されておりまして、日本画、洋画、彫刻など、大変質の高い作品に触れることができ、気持ちがよい秋の午後を過ごすことができました。

岩本教育長： 教育長報告は以上です。この件に関わって何かご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、議事に入りたいと思います。

○議 題

1. 全国学力・学習状況調査について（教育総務課）

岩本教育長： 議題1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より全国学力・学習状況調査の結果について説明>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

高木委員： 調査結果から見ると正答率が上回ってきたり、意識の面も向上してきているという面が見られて教育委員会の取り組み、それから先生方の日頃のご努力が実ってきている結果かなと思って嬉しく思います。この家庭にだすおたよりもただ字だけが並んでいると読みづらいんですが、吹き出しを使って、実際に学校に行っている教育委員会の方々から話をされているのが伝わってきて、血の通っている感じがします。ただ結果をお知らせするよりも心が伝わるように感じました。

また、学力向上のポイントの1つに「様々なジャンルの本や新聞を読もう」という項目がありますが、様々なジャンルとしてあるところが良いなと思って、保護者の方だと物語を読むということが本を読むことだとお感じになっていて、それ以外の本を読んでも、本を読んでいないと思われる傾向もごございますが、そうではなくて、様々なジャンルの本に接するということが大事なんだということが伝わって、嬉しいことだと思います。

あと1つお聞きしたいことですが、学力向上のポイント「教員の授業力向上」の中に「中学校区や教科会ごとの小中接続・連携を進め」とありますが、具体的にどんなことをやっているのか教えてください。

事務局： 小中学びの連携ということで、年間何回かありまして、小学校の先生方が中学校の授業を参観に行く、逆に中学校の先生方が小学校の授業を参観して、お互いに検討して情報交換しながら行っております。あとは、夏の悉皆研修の時には、教科ごと小中の垣根を外して教材研究を進めております。

岩本教育長： 学びの連携が進む中で、中学の先生方の授業が変わってきています。それは、小学校へ行って、小学校の先生方の授業に触発されて、自分をちょっと変えてみようという先生が増えてきています。私は、授業改善には非常に効果がある取り組みだと思っています。小中一貫教育だとか小中連携教育だとか今言われていますが、まさにそれをやることで、先生方がお互いに触圧し合って、良い先生達の学びができています。

草間職務代理者： 学校訪問させていただく中で、先生方が授業の中で全員の生徒達の学力を上げようと大変努力していただいて、また、教材も多く研究していただいて、大きく授業の内容が変わってきているということを感じます。その中で、先程、1日当たりの学習の時間が減ってきているという話でしたが、確かに量より質ということもありますが、今の学校の学習の形態からして、前みたいにドリル式から考える内容が変わってきているので、もっと家庭学習を大事にして、今日習ってきた学校の授業を家庭で定着させるという必要性があると思います。それで、学習の時間が減っているということは、全部が宿題の時間ではなくて、自主学習や読書の時間を含めてということだと思いますが、少し問題があるのではないかと思います。その点について学校にどのような指導をしているのでしょうか。

事務局： おっしゃるとおりで、量より質とはいえ、やはりちゃんと時間をかけるということが非常に大事ななと思っています。各学校では、ここの数値が低いので、そこを一生懸命に取り組んでおります。少しでも子ども達の中で高めていけるようにしていくということと、あとは、学校の授業だけで全ての内容が頭に入る訳ではないので、家庭での学習習慣というものもなければ、学力は定着していかないため、家庭学習月間を年に2回や学期に1回とか学校によって様々ですが、実施をしているところです。岡谷田中小学校でいえば、ワンプレートホームワークという自主学習をやっています。ワンプレートホームワークというのは、何ですかということから入ってい

って、国語・算数・理科・社会などのどんな教科であっても自分で思った疑問を調べて、自分で進めて、1週間の中でする宿題ですよということを定着させていく段階、そして、その成果が上がっていくように工夫して取り組む段階にと、各学校の中で考えているところです。ただ、減っているというところの一つは、子ども達の認識だと思います。先生がやってきなさいと言ったものが家庭学習という認識で捉えていて、日記もそうですし、読書もそうですし、そういったもの全般が自分を耕すための学習だということがリンクしていないのではないかと思います。家庭学習のスタイルも変わってきているので、その認識が子ども達の間でずれていて低いという数値がでてきているのかなというところもあると思います。

小 平 委 員： 私も草間職務代理者さんが話題に出していただきましたが、単純なドリルではなく調べ学習に変化していくということが大変良いことだと思っていて、時代としては知識を詰め込むだけではなく、情報をどう利用していくかという力が求められていると思います。たしか何か取り組みをされているなと思いましたが、それがワンプレートホームワークということで素晴らしい取り組みだと思います。親子でそれを共有して話し合う時間も持てるということで、とても良い流れになっていると思いますし、親も一緒に勉強になると思います。それが学習の時間としてカウントされていないのはもったいないと思います。親子での対話も学習ですし、調べている時間も学習だと思いますので、質問の時にそういったことも含めて何時間かけていますかというふうに投げかけるといいのではないかと思います。全体を見た感じ、先生方の日頃の取り組みを学校訪問や研究授業などで拝見して、とても子ども達のやる気を引き出す教育をしているということを感じています。保護者の皆さんに配った「伸びる岡谷の子」というプリントもすごくわかりやすく、伝わりやすいと感じました。子ども達にわかりやすく伝えるということを先生方がしっかりと考えてくださっていて、先生が求めていることを子どもに押し付けないという方向性をすごく感じまして、そういったことが保護者にも伝わっていくということは良いことだと思います。

あと、先日、書画カメラというものを調べたことがありまして、書画カメラを授業に生かす研究を先生方だと思いますが、勉強会をしている動画をたまたま目にしました。書画カメラというのは、今学校にあるのでしょうか。

事 務 局： あります。ぼうけんくんといって、ビデオカメラが虫眼鏡みたいな形になっていて、物を写すとそれがモニターに飛びますので、授業中にノートを写してその子どもの考えを皆に見せるというような使い方をしますが、各学校2台ずつあります。

小 平 委 員： 既に利用されているんですね。あともう一つ質問なんですが、今回の学力・学習状況調査で国語Aとか数学Aとかの区分をなくしたのはどういった理由があつてなくなったのでしょうか。

事 務 局： 基礎とか活用ということではなく、学びというのは常にスパイラルでぐるぐるそのサイクルが回っていく中で行われるものなので、分けることに不都合さがでてきて、これからの学力観を問う時に分ける必要がなくなってきたということでもあります。

小 平 委 員： あと中学校のキャリア教育の成果がでてきているということで、いつも思っていることなんですが、小学校で勉強は楽しいですんできたことが、中学校だと自主的な気持ちじゃないと本当に勉強に取り組めなくなってきましたので、キャリア教育で具体的に自分の将来像を描けるかどうかということがすごく勉強が頑張れるか頑張れないかということに直結していると思いますので、この効果が感じられるということは非常に良いと取り組みがされていると思います。

藤 森 委 員： ちょっとだけ教えていただきたいのが、質問紙からということで、児童・生徒が良い方向に増加しているということで、増加とか、やや増加といった表記になっているんですが、イメージとして増加という何%くらいとか、やや増加だとそんなに変わっていないけどちょっとだけ増えているとかどんな感じなんですか。

事 務 局： イメージとしてややというところは本当に少しか増えているということで、増加は棒グラフ上で見た目に増えたなということです。

藤 森 委 員： それは、昨年度と比較してということでしょうか。

事 務 局： そうです。

藤 森 委 員： トрендとしては、良い方向に全体的に上がってきているというイメージいいのでしょうか。

事 務 局： 先ほども少しお話をさせていただきましたが、調査の様式が変わった中で、項目も変わって

しまったので、全部の比較ができないんですが、今年の結果は、比較的良い方向に動いたかなと思っております。特に中学校が良い方向に動いたということが強く印象にあります。

藤森委員： 恐らくそこらへんが先生方や学校の努力とか授業改善に取り組んだことによって結果として出てくるものだと思います。データが全てだとは思いませんが、一つの定量的な評価としてはデータというのはすごく大事だと思いますし、そのへんのところをしっかりと分析していただいて、また新たな改善というところに結びつけていただくような循環を作っていただければと思います。

岩本教育長： 色々なご意見を頂戴しました。学力向上というのは子どもにとっては非常に大きいことだと思っています。学校で身に付けるべき力を本当にしっかり身に付けてあげることが、大人になってまた立派な社会人になっていくための基盤でありますので、学校は大きな使命を持っているとあらためて思っているところです。この全国学力・学習状況調査の結果というのは平均値ということですので、その年によっても違うし、色々な条件によってどんどん変わる訳ですが、ようは子ども達も先生達も学びという面でどれだけエネルギーを持ってやり出しているか、そこを大事にしていきたいと思っています。そういう意味では、私は多少手ごたえを感じています。先生方が毎日授業をやっています。その1時間、1時間の積み重ねが子ども達の成長に繋がっていますので、いかに自分の授業をより良いものにしていくのか、この全国学力・学習状況調査の結果も自分の授業を改善する一つのきっかけということで、活かしていくことかなと思っています。昨日は、県教育委員会から3人の先生をお招きして、この全国学力・学習状況調査の結果について分析をしていただき、ご指導をしていただきました。すべての学校から大勢の先生方に集まっていたいて、勉強をしました。一番先生達の意識が高まってきたな、そして、良い授業をしようという気持ちに火が付いているなどあらためて感じました。今、教育委員さんからいただいた意見も大事にしながら更に皆で子ども達のために頑張っていきたいと思っていますところでもあります。また、学校訪問等で授業を見ていただいて、私達が願っているような方向にその授業が動いているかどうかご覧いただければと思います。ありがとうございました。

それでは、次に報告事項に移ります。

○報告

1. 来年度の予算編成方針について (教育総務課)

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より来年度の予算編成方針について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、次に報告事項2へ移ります。

2. カナダデザインイラストコンテスト選考結果について (生涯学習課)

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

<事務局よりカナダデザインイラストコンテストの選考結果について説明。>

岩本教育長： 今、事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

小平委員： 作品を拝見させていただいて、大変力作が多かったのと、選ばれた作品は素晴らしいデザイン性があるって、これ以外にも抽象表現であったり、緻密な描きこみがありました。Tシャツにするとかデザインという意味合いからすると妥当な賞かなと思いますが、色々な力作があるということで、皆さんが作品に向かう良いきっかけができたんじゃないかなと思いました。指導しているイラストクラブの子ども達も大勢応募してくださったんですけど、良い機会をもらいました

し、ご丁寧に参加賞もいただいて喜んでいました。

岩本教育長： 教育委員の皆さんのご協力をいただきながら、良い作品を選ぶことができたなと思っております。今度はこれを活用して、またカナダの国ことを知って仲良しになっていけばいいのかなと思っています。

報告事項は以上となります。それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

岩本教育長： それでは、事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日の調整>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、10月の定例教育委員会を終了とします。

終了10時55分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和元年11月8日

教 育 長

岩本博行

署 名 委 員

小平陽子

署 名 委 員

草間吉幸

調 製 職 員

城田守